

コミュニティスクール 玖珠中で恒例…強歩大会！

～ホッカホカの豚汁と

玖珠米のおにぎりがお出迎え～

前日までの雨がピタッと上がり、絶好のランニング日和の中、去る12月22日(火)恒例となった強歩大会が実施された。二十年ぶりに実施された一昨年、全学年で実施した昨年、そして今年、もう恒例と言ってもいいほど地域の方たちのサポート、保護者の意気込み、食材を各家庭から持ち寄っての豚汁接待など、軌道に乗ってきた。今回も地域『協育力』支援事業として、コミュニティ女性部のお力添えをいただいたことは言うまでもない。またコミュニティより事務局長らも沿道での交通指導に立ち、子どもたちを見守っていたいただいたのも嬉しかった。



声援を受けて走る生徒たち

いた保護者の皆様、前日の仕込みや当日の接待、沿道での給水サポーターの皆様、荷物を運ぶのに車を出して頂いた方、沿道でたくさん応援して頂いた地域の皆様、行事を聞いてお米を使ってくれと持ってきて頂いた方、ありがとうございます。玖珠中の子どもたちを思う気持ち



配膳する保護者の皆さん

が、『温かい』豚汁となった。今、玖珠中の生徒は一步一步ステップアップしてる。どうぞ温かく見守っていただきたい。

協育コーディネーター

岩尾 純子

手作り学ぼう

～冬季工作教室～

申

12月20日(日)玖珠地区育成協主催の冬季工作教室が開催され、参加者67名で、来年の干支(申・猿)の置物づくりをしました。

直径の約3倍の長さに輪切りしたプラタナス(鈴かけ)の木が素材で、あらかじめ描かれた輪郭線に沿って顔面や腹部を削り、左右のバランスを整え、腕を取り付け、色を塗って仕上げました。

限られた短い時間では子どもだけの作成は難しいので、「胴体の斜め

切り」や「腕のくり抜き」の過程は大人の力と技に頼りましたが、子どもは小刀で削り、サンドペーパーで磨き、色塗りなどを熱心に取り組み、目玉を入れ台座に取り付けて完成させました。

今年には特に6年生の参加が多く、さすがに手際も良く、取り組むメンバーも大変立派でした。

刃物を使うときは指先を刃先の前に置かないようにすることや、色を重ねるときは混色を避けるために下地が乾いてから塗ることなど、干支作りを通していろいろ学ぶことが出来ました。

作業終了後の昼食には、「おやじの会」のみなさんにカレーを作ってい



真剣な表情で刃物を使う子ども達



ただき、お代わりもありました。地域のみなさん方とふれあいが出来て、よい学びの機会となりました。

おどろきタスキをこー！

小田小学校伝統の校内駅伝大会が12月4日(金)に行われました。瀧神社前の神幸橋をスタート、中通りから下引治公民館を経て、上引治から小田小学校までの全長4.9kmを、4つの縦割り班チームで健脚を競いました。

当日は気温が低く、冷たい西風が強く吹き荒れるコンディションでしたが、子ども達はそれをものともせず、全チームが自分たちの記録を更新する快走をみせてくれました。

子ども達はこの一か月、少しでも個人・チームのタイムを縮めようと努力してきました。勝って喜び、負けて泣くチームもありましたが、勝ち負けよりもチームで力を合わせ、努力する大切さを学んだ大会でした。みんなよく頑張りました！

子どもの安全のため「見守り隊」として参加・応援していただきました保護者・地区民の皆様、最後まで子ども達にご声援していただき、また、ご協力していただきありがとうございます。



タスキをかけて神幸橋付近を走る子ども達